

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1925
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.19, No.12 (1925. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19251201--001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19251201--001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 三田學會雜誌

慶應義塾大學 經濟學部 機關誌

(第廿二號) 二十二月號 (第九十卷)

- ◎ 労働者の企業資本参加 向井鹿松
- ◎ ラツサルミロオドヘルトス 小泉信三
- ◎ 孫江二氏の社會主義 及川恆忠
- ◎ Johann Heinrich von Thünen の自然賃銀論に就いて 寺尾琢磨
- ◎ 「國富論」以後 高橋誠一郎
- ◎ 理財學會記事
- ◎ 第十九卷後半總目次

# 巴比倫の財政學

經濟學博士 土方成美序  
法學士 菱沼勇譯

菊判二百九十頁、布裝、函入  
定價貳圓八拾錢  
送料書留廿七錢

本書は八月二十三日東京時事新聞紙上に於て田中穂積博士が「最近の頁書として推賞せられたるケンブリッジ・エコノミックス・シリーズの中の一編として出版せられたるものである。本書は財政を經濟現象として觀察し殊に國家の經費や收入と國民經濟との關係を中心として論じてゐる點に於て特色を有する。肥述は理論を主とし、而も實際問題を離るゝことなく正確なる推理と公平なる批判と該切なる論斷を加へてゐる。又本書が戰後諸國の面接せる財政問題、將來の財政々策に關して吾等に教ふる所は眞に多大であつて國家の實際政策の指針を示すものである。兎に角本書が近時諸國を通じて現れたる財政學に關する文獻の中最も價値あるもの、一である事は疑はれない。財政學が政府官吏か何かの特殊知識と考へられず、國民生活に關する知識とすべきものであることを本書が示したる點は、殊に注意せらるべきである。

第一章 經費と收入——序説 收入を擧ぐる方法 租税と經費 生産的經費：不生産的經費：政府出費の限度 第二章 租税と公平——比例税 累進税：租税と最少限度の犠牲：公平と經濟 第三章 實際的諸問題——生活必需品に對する課税：間接税の限度：所得税の實際的利益 第四章 租税と生産——支出税：所得税と生産能力：相續税：余剩課税：増價税：超過利得税：第五章 租税と分配——現在の分配：租税の變化：租税の轉嫁 第六章 其他の經濟的諸考察——租税の還元：間接税の轉嫁：輸入税と輸出税 第七章 地方財政——地方政府の職能：地方課税の方法：地方税の歸着：補助金制度の發達 第八章 戰時財政——物價の動搖：物價騰貴と外債：物價騰貴と内債：通信膨張の費用 第九章 戰後の債務負擔——償還と債務國：償還と債權國：内債と償還：公債償還 資本原

發行所 東京芝區八幡町廿五番 厚生堂